

(倫理様式 2-2-1)

回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリテーション提供量と ADL 能力改善の関連性～年齢別の相関分析～

1. 研究の対象

2021 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までに回復期リハ病棟に入院した脳卒中患者の方

2. 研究目的・方法

回復期リハビリテーション病棟に求められるのは、高密度のリハビリを提供し、ADL 能力を改善させることです。我々は、回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリ提供量と ADL 能力改善の関連性について調査し、リハビリを多く実施することで ADL 能力は改善するものの、患者さんの重症度、リハビリ投入時期によりリハビリの効果には差があることを報告しています。しかし ADL 能力改善については、重症度や発症からの時期のみならず、年齢が関連しているとの報告が少なくないです。今回、年齢別にリハビリ提供量と ADL 能力改善の関連性について検討しました。

これらの研究は倫理委員会承認後～2025 年 3 月 31 日の間に実施します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、疾患、身体機能の情報 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人脳血管研究所美原記念病院
住 所：群馬県伊勢崎市太田町 366
T E L：0270-24-3355 F A X：0270-24-3359

研究責任者：リハビリテーション部・北村裕史

-----以上